

Youth Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2024/2/26(月)

マタイ22:15-22

●パリサイ人たちの質問は、どう答えても窮地に陥るような、答えるのが難しい質問だった！
・律法にかなっていると答える→民衆から反発をかう。
・かなっていないと答える→ローマ帝国に逆らうことになる。
彼らはイエス様に、どんな心で質問したのだろうか？

●イエス様の答えから、私たちが学べることは何だろうか？私たちにあって「カエサルのもの」「神のもの」とは何だろうか？

2024/2/27(火)

詩篇38篇

●著者のダビデは、自分の罪や咎、愚かさのために苦しんでいる。君は自分自身の内にある罪をどのように見ているだろうか。1-8節を読んで思い巡らそう。

●ダビデは自分自身に絶望しながらも、救ってくださる神様に心を向けて祈っている。神様があなたに与える救いとはどのようなものだろうか？

●あなたを罪から解放するために十字架にかかったイエス様に心を向けよう。今も「あなたを愛している」と語ってくださるイエス様の愛を受け取ろう。

2024/2/28(水)

詩篇39篇

●ダビデはことばで失敗しないように、ひたすら黙っていた。君はことばで失敗したことはあるかな？

●イエス様は「心に満ちていることを口が話す」と言われたよ。僕らの話すことばが周りの人に恵みを表すものになるためには、何を神様に求めるべきだろうか？

●ダビデは人の空しさを覚えつつも、その中で神様ご自身を求めた。君が空しさを感じるのはどんな時？神様と共にある歩みにはどんな祝福があるだろうか？

2024/2/29(木)

詩篇40篇

どのような背景かは分からないが、ダビデが苦難の中にいたことが読み取れる。

その中で1節「私は切に主を待ち望んだ。主は私に耳を傾け助けを求める叫びを聞いてくださった。」と神様からの助けがあったことが分かる。

ただ大変とか難しいではなく、ダビデの苦難は命に関わるようなことだろう。

今の時代に日本で信仰によって命が脅かされることはないが、誘惑や正しくない情報が多過ぎて信仰を貫くのは大変である。

信仰を持ち続けられるように"切に"祈ろう！家族、友達の救いを"切に"願おう！

2024/3/1(金)

詩篇41篇

●4vからのダビデの祈りを見てみよう。5,9vを読むとダビデの状況はどんなだったかな？

●ダビデが、親しい友にさえ見放されるような孤独の中で、何が彼自身の救いになっていたと思う？11vから考えてみよう。

●ダビデは孤独の中で神様との親密さを支えとしていた。きみはどうやって神様との関係を深めているかな？友情が自動的に育つことはないように、神様との関係も自動的に深まらない。時間と心を使うことが必要だ。何ができるか考えてみよう！

2024/3/2(土)

詩篇42篇

みんなは体育や部活で長い距離を走った時に喉がとてつもなく渇いて水がほしくなったことがあるかな？

『谷川の流れを慕う鹿』はそれに近い例えで、それくらい神様を求める心が歌われているんだ。

私たちは困った時、苦しい時つい自分の力で心なんとかしようとしてしまうけれど、そんな時こそ神様にありのままの自分の心を祈ろう。神様を信頼して、正直な姿で祈るモデルが詩篇ではたくさん記されているよ。

そして神様が来てくださって、語ってくださるのを待ち望んでいこう！

2024/3/3(日)

詩篇43篇

●この詩篇の著者が直面している問題は何だろうか？似たような経験をしたことはあるかな？

●3,4節を読もう。この人は神様の近くに行くことを喜びとしていたようだね。君はどんな時に神様を近くに感じる？もっと神様の近くに行きたいと願うかな？

●5節で著者は自分の心に「なぜ」と語りかけているね。そして「神を待ち望め」と自らの心を奮い立たせている。どんな厳しい状況であっても、神様により頼む決心をしよう！